

平成30年度米子高専同窓会総会

平成30年6月23日(土)

16時～19時50分

ANAクラウンプラザホテル米子

次 第

総会 16時～16時40分

1. 開 会
2. 会長あいさつ
3. 来賓紹介と祝辞
4. 成立宣言
5. 議長選出
6. 第一号議案 平成29年度事業報告決算報告および監査報告
7. 第二号議案 平成30年度事業計画(案)および予算(案)
8. 第三号議案 規約改定
9. 第四号議案 周年記念事業準備基金
10. その他
11. 議長解任
12. 閉 会

連絡事項／集合写真撮影 17時00分～17時10分

総会懇親会 17時10分～19時50分

1. 懇親会挨拶
2. 来賓祝辞
3. 乾 杯
4. 歓 談
5. 自己紹介(学科別)
6. 校歌斉唱
7. 中締め
8. 閉 会

* 2次会会場へ移動

平成29・30年度役員

役職	氏名	卒年	学科名
名誉会長	氷室昭三	校長	
会長(理事)	矢末誠	昭49	工業化学科
副会長(会計担当・理事)	笠木直人	昭54	電気工学科
副会長(事務局長・理事)	大谷文雄	昭54	工業化学科
副会長(関西支部長・理事)	塚田哲也	昭47	電気工学科
副会長(中部支部長・理事)H29/7～	杵築邦昌	昭50	機械工学科
副会長(中部支部長・理事)～H29/7	田原信夫	昭48	電気工学科
副会長(首都圏支部長・理事)H30/4～	吉川博	昭48	機械工学科
理事	田宮大悟	平5	機械工学科
理事	塗信正利	平8	機械工学科
理事(ポータル・サイト本部管理者)	清水哲也	平4	電子制御工学科
理事	福庭健一	平4	電子制御工学科
理事	小林直哉	平17	電子制御工学科
理事	石田晃	平元	建築学科
理事	菅原香	平7	建築学科
監査	徳安哲夫	昭50	工業化学科
監査	内藤秀作	昭63	建築学科

(4月14日、吉川博氏が首都圏支部設立総会において支部長に選出されたことにより副会長に就任いただいた。)

第一号議案

平成29年度事業決算報告および監査報告

平成29年度事業報告

1、学生研究助成事業

年月日	学科	指導教員	支出目的
H. 29. 11. 4	M	森田慎一	第21回スターリングテクノラリー学生派遣
H. 30. 1. 27	E	宮田仁志, 浅倉邦彦	第23回高専シンポジウム学生派遣
H. 30. 3. 6	D	野登路淳, 香川律	日本機械学会, 中国四国学生会, 第48回学生員卒業研究発表講演会学生派遣
H. 29. 11. 18-19 H. 29. 12. 9-10	D	能登路淳, 河野清尊	Web×IoTメイカーズチャレンジ2017 in 鳥取への学生派遣(ハンズオン講習会及びハッカソン参加旅費, 宿泊費)
H. 30. 1. 27	C	藤井雄三, 藤井貴敏	第23回高専シンポジウム学生派遣
H. 29. 12. 1-4	A	前原勝樹, 金澤雄記	全国高専デザインコンペティション2017in ぎふ学生派遣
H. 29. 11. 18-19 (ハンズオン講習会) H. 29. 12. 9-10 (ハッカソン)	S	山口顕司, 河野清尊	Web×IoTメイカーズチャレンジ2017 in 鳥取への学生派遣(ハンズオン講習会及びハッカソン参加旅費, 宿泊費)

2、ポータル・サイトの運営・更新, 会員への情報発信

会員にID・パスワード発行, ポータル・サイトの保守管理を行った。

メルマガ配信, Facebookにより会員への情報発信を行った。

3、同窓会理事会の開催

H. 29. 4. 17 (月) 米子高専小会議室

H. 29. 5. 15 (月) 米子高専小会議室

H. 29. 6. 12 (月) 米子高専小会議室

H. 29. 6. 17 (土) 米子高専同窓会総会

H. 29. 7. 19 (水) 米子高専小会議室

H. 29. 8. 21 (月) 米子高専技術相談室

H. 29. 9. 19 (火) 米子高専技術相談室

H. 29. 10. 23 (月) 米子高専技術相談室

H. 29. 11. 22 (水) 米子高専技術相談室

H. 29. 12. 18 (月) 米子高専技術相談室

H. 30. 1. 29 (月) 米子高専技術相談室

H. 30. 3. 12 (月) 米子高専技術相談室

4、支部および米子高専首都圏同窓会との交流

関西、中部両地区での支部総会および米子高専首都圏同窓会総会に出席した。

関西支部第5回総会 H. 29. 5. 27(土) 中部支部第5回総会 H. 29. 7. 15 (土)

米子高専首都圏同窓会総会 H. 29. 6. 10(土)

5、会員交流会

会員交流会（サントリー工場見学ほか）をH. 29. 11. 26(日)実施した。

6、ホーム・カミング・デイ

文化祭にあわせてホーム・カミング・デイを開催した。〈H. 29. 11. 2(木), H. 29. 11. 3(金)〉

7、Ynct-net 同窓会ビジョン検討

これからの同窓会活動の方向について検討を行った。

(1) 開催日（開催場所）

- ・ H. 29. 5. 28（鳥取県関西本部：大阪市）
- ・ H. 29. 7. 29（中央電気倶楽部：大阪市）
- ・ H. 29. 10. 14（鳥取県関西本部：大阪市）

(2) 主な議題

- ・ 組織的・計画的な同窓会運営（会長・副会長会の設置）
- ・ 母校（主として在校生）・地域への人的支援
- ・ 同窓会情報発信の電子化
- ・ 同窓会財政
- ・ 会員情報の管理利用の厳格化（規則の制定）

8、会員の調査、メールアドレス登録

同窓会情報発信の電子化推進準備のため、住所不明（前回調査H. 23. 1以降）会員の調査と住所判明者中メールアドレス未登録への登録依頼活動を実施した。

- ・ 住所不明約 550 名に対して約 420 名が判明した。
- ・ 住所判明者中メールアドレス未登録 5, 212 名会員に対して 206 名の登録があった。

9、首都圏同窓会の継承による首都圏支部設立の承認

首都圏同窓会を継承する首都圏支部設立の申請があり、3月12日の理事会において承認された。

（4月14日、首都圏支部設立総会が開催された。）

平成 29 年度決算報告

普通会計（同窓会普通口座）

収入の部

項目	概要	金額(円)	備考
繰越金	前年度繰越金	4,094,222	
入会金		1,025,000	新入生
入会金		15,000	留学生
入会金		125,460	H30/3 卒業生(建築)
雑費		3,530	利息, 名簿購入
合計		5,263,212	

支出の部

項目	概要	金額(円)	備考
委託料	小野高速データ管理費 ポータル・サイト年間維持費 同窓会報発行費 ほか	2,045,790	会員データ管理費 64,800
			総会案内状本部 377,172
			総会案内状中部支部 28,581
			本部支部総会返信はがき 117,311
			フォローアップ調査 732,426
			メールアドレス登録 452,250
			ポータルサイトリニューアル 70,200
			在校生メールアドレス登録 191,192
			在校生メールアドレス登録返信はがき 11,858
			ポータル・サイト年間維持費 56,160
旅費	首都圏同窓会総会 本部総会 関西支部総会 中部支部総会 全国高専同窓会連絡会 ビジョン検討委員会 (5/28, 7/29, 10/14)	641,420	首都圏同窓会総会 3 名分 116,100
			同窓会総会 4 名分 126,500
			中部支部総会 1 名分 39,080
			関西支部総会 4 名分 111,240
			全国高専同窓会連絡会 1 名分 44,680
			ビジョン検討委員会 2 回分 180,060
関西支部交流会新年会 23,760			
助成金	学生研究助成	300,000	
積立金	記念事業・ポータル・サイト作成準備	200,000	
借上料	総会, 幹事会, ビジョン検討委員会 会議室使用料ほか	123,306	本部総会会場費 37,320
			中部支部総会会場費 58,164
			中部支部幹事会会場費 15,822
			ビジョン検討委員会 12,000
通信費	来賓総会案内郵送費ほか	5,458	ハガキ, 切手
消耗品	印刷用紙	537	卒業生同窓会案内用
手数料他	振込手数料, 弔電	2,592	手数料, 弔電
	小計	3,375,263	

収入金 5,263,212 円から
 支出金 3,375,263 円を差し引いた
 1,887,949 円を次年度へ繰越

収入の部

項目	概要	金額(円)	備考
繰入金	同窓会会計からの繰入金	557,772	
助成金	入金	300,000	普通会計より
雑費	利息	3	
合計		857,775	

支出の部

学科	支出目的	金額(円)	備考
M	第 21 回スターリングテクノラリー学生派遣	50,000	
E	第 23 回高専シンポジウム学生派遣	43,002	
D	日本機械学会, 中国四国学生会, 第 48 回学生 員卒業研究発表講演会学生派遣	51,500	
D	Web×IoT メイカーズチャレンジ 2017 in 鳥取 への学生派遣	33,280	
C	第 23 回高専シンポジウム学生派遣	34,142	
A	全国高専デザインコンペティション 2017 in ぎふ学生派遣	34,400	
S	Web×IoT メイカーズチャレンジ 2017 in 鳥取 への学生派遣	12,000	
合計		258,324	

収入金 857,775 円から
 支出金 258,324 円を差し引いた
 599,451 円を次年度へ繰越

ポータル・サイト作成準備基金会計
(同窓会定期定額口座)

収入の部

項目	概要	金額(円)	備考
繰越金	前年度繰越金	400,000	
積立金	入金(ポータル・サイト作成)	100,000	普通会計より
合計		500,000	

支出の部

項目	概要	金額(円)	備考
合計		0	

収入金 500,000 円から
 支出金 0 円を差し引いた
 500,000 円を次年度へ繰越

周年記念事業準備基金会計
(同窓会定期定額口座)

収入の部

項目	概要	金額(円)	備考
繰越金	前年度繰越金	400,000	
積立金	入金(周年記念事業)	100,000	普通会計より
合計		500,000	

支出の部

項目	概要	金額(円)	備考
合計		0	

収入金 500,000 円から
 支出金 0 円を差し引いた
 500,000 円を次年度へ繰越

監査報告

平成29年度

監査報告書

関係諸帳簿ならびに証拠書類により監査した結果、適正かつ正確に処理されていることを認めます。

平成30年5月9日

監査 徳安 哲天



監査 内藤 秀作



第二号議案

平成30年度事業計画(案)および予算(案)

平成30年度事業計画(案)

1、ポータル・サイトの運営

平成25年8月公開したポータル・サイトの管理運営を行う。
情報の発信とともに情報提供を呼び掛ける。

2、同窓会理事会の開催

会員の交流会等の開催を検討するための理事会を開催する。

3、各支部との交流推進

関西支部、中部支部、首都圏支部との交流を図り情報交換と事業協力を行う。

4、同窓会報の発行

同窓会の活動を広く知らせるための会員への紙面による発行は隔年とする。
本年は、会報PDF版をポータル・サイトに掲載するとともに郵送による配布を行う。

5、会員交流会の開催

会員相互の交流を図るため、母校と協力してホーム・カミング・デイを実施する。
会員交流のためのイベントを検討する。

6、会員の現況把握

会員の現況把握、特にメールアドレス捕捉率の向上に努める。

7、会員への情報発信

メルマガ配信、Facebookやポータル・サイト活用により会員への情報発信を実施する。
同窓会情報発信のIT化周知に取り組む。

平成 30 年度予算(案)

普通会計（同窓会普通口座）

収入の部

項目	概要	金額(円)	備考
繰越金	前年度繰越金	1,887,949	
入会金	会費	1,000,000	5,000 × 200 = 1,000,000
入会金	会費(H29年度卒業生:除建築)	432,000	3,000 × 144 = 432,000
雑費	利息	41	
合計		3,319,990	

支出の部

項目	概要	金額(円)	備考														
委託料	小野高速印刷利用料 ポータル・サイト年間維持費	1,410,800	<table border="0"> <tr><td>会員データ管理費</td><td>64,800</td></tr> <tr><td>本部総会案内状</td><td>320,000</td></tr> <tr><td>中部支部総会案内状</td><td>30,000</td></tr> <tr><td>ポータル・サイト年間維持費</td><td>60,000</td></tr> <tr><td>同窓会報</td><td>900,000</td></tr> <tr><td>在校生メールアドレス登録</td><td>35,000</td></tr> <tr><td>在校生メールアドレス登録返信</td><td>1,000</td></tr> </table>	会員データ管理費	64,800	本部総会案内状	320,000	中部支部総会案内状	30,000	ポータル・サイト年間維持費	60,000	同窓会報	900,000	在校生メールアドレス登録	35,000	在校生メールアドレス登録返信	1,000
会員データ管理費	64,800																
本部総会案内状	320,000																
中部支部総会案内状	30,000																
ポータル・サイト年間維持費	60,000																
同窓会報	900,000																
在校生メールアドレス登録	35,000																
在校生メールアドレス登録返信	1,000																
旅費	本部総会, Ynct-net 連絡会 関西支部総会 中部支部総会 首都圏支部設立総会 全国高専同窓会連絡会	453,000	<table border="0"> <tr><td>本部総会 3名分</td><td>114,000</td></tr> <tr><td>関西支部総会 3名分</td><td>84,000</td></tr> <tr><td>中部支部総会 3名分</td><td>94,000</td></tr> <tr><td>首都圏支部設立総会 3名分</td><td>116,000</td></tr> <tr><td>全国高専同窓会連絡会 1名分</td><td>45,000</td></tr> </table>	本部総会 3名分	114,000	関西支部総会 3名分	84,000	中部支部総会 3名分	94,000	首都圏支部設立総会 3名分	116,000	全国高専同窓会連絡会 1名分	45,000				
本部総会 3名分	114,000																
関西支部総会 3名分	84,000																
中部支部総会 3名分	94,000																
首都圏支部設立総会 3名分	116,000																
全国高専同窓会連絡会 1名分	45,000																
助成金		0															
積立金	周年記念事業	200,000															
借上料	総会会場費 会議室使用料	140,000	<table border="0"> <tr><td>本部総会会場費</td><td>0</td></tr> <tr><td>中部支部総会会場費</td><td>50,000</td></tr> <tr><td>首都圏支部総会会場費</td><td>50,000</td></tr> <tr><td>支部幹事会会場費</td><td>40,000</td></tr> </table>	本部総会会場費	0	中部支部総会会場費	50,000	首都圏支部総会会場費	50,000	支部幹事会会場費	40,000						
本部総会会場費	0																
中部支部総会会場費	50,000																
首都圏支部総会会場費	50,000																
支部幹事会会場費	40,000																
消耗品費		3,000															
通信運搬費		3,000															
手数料		2,000	振込手数料														
予備費		1,108,190															
合計		3,319,990															

学生研究助成会計

収入の部

項目	概要	金額(円)	備考
繰越金	前年度繰越金	599,451	
助成金	入金	0	
雑費	利息	0	
合計		599,451	

支出の部

項目	概要	金額(円)	備考
各科		0	
合計		0	

ポータル・サイト作成事業準備基金会計

(同窓会定期定額口座)

収入の部

項目	概要	金額(円)	備考
繰越金	前年度繰越金	500,000	
積立金	入金(ポータル・サイト作成)	0	
合計		500,000	

支出の部

項目	概要	金額(円)	備考
合計		0	

周年記念事業準備基金会計

(同窓会定期定額口座)

収入の部

項目	概要	金額(円)	備考
繰越金	前年度繰越金	500,000	
積立金	入金(周年事業)	200,000	普通会計より
合計		700,000	

支出の部

項目	概要	金額(円)	備考
合計		0	

第三号議案

規約改定

同窓会会則を次の通り改定する。

第3章第5条八項から

『幹事 各クラス1名以上』を削除し
以下の項を繰り上げる。

第3章第6条一項から

『幹事は、卒業年度毎に各クラスで選出する。』を削除し
以下の各項を繰り上げる。

第3章第8条八項から

『幹事は、クラス会員との連絡等をする。』を削除し
以下の項を繰り上げる。

第4章第13条から

『必要に応じて事務局長が出席して開催し、』を削除する。

新たに第6章第19条から第21条を加える。

『第6章 情報の保護と提供

(個人情報)

第19条 個人情報とは、正会員、準会員、賛助会員、特別会員および名誉会員の個人を識別できる情報で、氏名、卒業年、現住所、電話番号、勤務先、出身校名、e-mailアドレス、在校時所属クラブの他に、同窓会へのお問い合わせの情報を指します。

(情報の管理)

第20条 個人情報の管理、利用については、規則の定めに基づいて行う。

2 規則の改廃を行ったときは、速やかに会員に周知する。

(情報発信)

第21条 同窓会からの情報発信は、原則として電子化する。

ただし、応分の負担をする希望者には、対応することができる。』

以上の改訂は、総会で議決された日とする。

第四号議案

周年記念事業準備基金を用いて50周年記念事業を実施する。

その他